

プライバシーを保ちながら空間を共有 一世帯では得られない豊かな住環境をつくる 亀井組ろじひろば万代町

明

治39年の創業以来、土木、建築、住宅事業を通じて、時代が求める環境を生み出してきた亀井組。長い歴史のなかで積み上げてきた技術をベースに、これから100年先の世代や地球にできるだけの良い環境を残していくことを掲げている。その想いを具体的な形にしたのが、6月末にオープンした「ろじひろば万代町」だ。

土地を造成して1軒ごとに区切っていくのではなく、敷地全体をひとつの街として展開するのが「ろじひろば万代町」のプロジェクト。約350坪の敷地に、平屋、2階建て、3階建てなど規模の異なる7棟が建つ予定で、隣家との境界には塀を作らず、路地や広場など共有の空間を設ける。車が入ってこない安全な広場でキャッチボールをしたり、バーベキューをしたり、庭先での過ごし方は多様だ。7棟のうち1棟は鉄筋コンクリート造で避難タワーの

役目を担うのもポイント。避難用具や食糧を備蓄するほか、平時はろじひろば万代町で暮らす住民の集会所や子どもたちの勉強部屋、趣味の教室など交流の場に。2階は亀井組の社員寮として利用し、災害時には住民が安全に避難できるよう誘導してくれる。
現在モデルハウスとして完成しているのは、2階建ての「通り

土間の家」。東のメイン玄関をはじめ、三方向につながる「通り土間」が特徴で、天井が高く、風が心地よく抜けていく開放的な設計だ。ガラスの建具やサッシを採用し、リビングと庭が一体的な空間になっているのも魅力。ろじひろば万代町では、標準プランを基本に、今後住む人と相談しながら残りの5棟を造り上げていく。亀井組が提案する新しい暮らしに興味があれば、まずはモデルハウスを見学してみよう(要予約)。



白を基調にナチュラルなインテリアで統一した1階。



三方向につながる「通り土間」が特徴。



モデルハウス「通り土間の家」の外観。敷地の奥には共同の果樹園もあり。



ワンルームの2階は、間仕切りを追加して将来的に3部屋に分割できる。



キッチンの床はリビング・ダイニングより一段下げ、料理をする人と座っている人の視線が同じ高さになるようにしている。



ろじひろば万代町の全体パース図。プライバシーを保つため、他の住戸の開口部と向き合わない配置になっている。



ろじひろば万代町
徳島市万代町6-13-1

問い合わせ
亀井組
088-625-2100
9:00~18:00
土日祝休(8/11~8/16は休)